

- ▶ 岸和田市では、不在地主・高齢人口の増加で、手入れ不足の人工林が増え、土砂災害の発生の危険性が高まっていることから、森林環境譲与税を財源として、森林組合等における間伐を支援するとともに、経済ベースで成り立たない森林については、森林経営管理制度に基づく間伐を進めていく方針。
- ▶ 令和2年度は、来年度に森林所有者意向調査を行うために、森林所有者意向調査事前準備業務を行い、森林の状況を把握することと、意向調査対象森林を検討した。
- ▶ 令和3年度においては、本業務の成果品に基づき、特定された森林所有者に対して意向調査を行っていく。

□ 事業内容

1 森林所有者意向調査事前準備業務。

【事業費】 3,938千円（全額譲与税）

【実績】

- ・業務期間
令和2年9月30日～令和3年3月31日
- ・業務箇所
岸和田市民有林面積 18.59km²
- ・成果品
 - ①優先順位ランク区分図
 - ②優先順位区分図
- ・GISを用いて以下3つの情報を絞り込むことで、経営管理が行われていない森林（意向調査対象候補）を抽出
 - ①私有林の人工林
 - ②森林経営計画なし
 - ③過去10年程度施業履歴

□ 事業スキーム

1 森林所有者への意向調査



□ 工夫・留意した点

- ・航空レーザー計測成果及び森林資源解析結果を用いて、意向調査優先順位の設定を行った。
- ・意向調査を計画的に実施するために、対象森林の抽出や林業に適している森林、適していない森林の分類を行う際に得られた情報及び地域の実情から優先順位を設定した。

◇ 基礎データ

①令和2年度譲与額	19,000千円
②私有林人工林面積（※1）	1,175ha
③林野率（※2）	26.7%
④人口（※3）	190,658人
⑤林家数（※4）	156家

※1、2：「2020農林業センサス」より、※3：「R2国勢調査」より、
※4：「H27年国勢調査」より